



新屋小学校の取り組み

新しい取り組みをしてみよう

校長 永井 加津美
児童 248人

「教育のひろば」とは各学校や幼稚園の特色ある取り組みを紹介するコーナーです。編集委員は、教育委員会の広報委員会に所属する各学校や幼稚園の教員です。

◆ チェッコリドッジ

— 投力アップ! —

「チェッコリ」とは、ガーナの民族舞踊です。音楽に合わせて歌いながらダンスをし、間奏の間だけ相手のコートにボールを投げます。曲の終了時に相手のコートに、より多く投げ入れたチームが勝ちとなります。2週間、縦割り班で、



みんなで楽しくチェッコリダンス



間奏でボールを投げ合う子どもたち

休み時間に練習、朝の活動の時間などに試合を行いました。軽快なリズムと口ずさみやすい歌詞に、練習のない休み時間にも、教室からチェッコリの曲が流れ、楽しそうに踊る子どもたちの姿が見られました。ボール投げが得意ではない子にとっては、ダンスを楽しみながら自然と投げる経験も重ねることができました。



◆ 思いやりの心を目指して

自分勝手な行動を慎み、周りの人の気持ちを考えて行動できる新屋つ子を育てようと、この「スリッパきれいきれい大作戦」に取り組みました。

まず、スリッパをそろえてほしい部分に、ビニールテープを貼りました。それから、「スリッパきれいきれい大作戦」と題したカードを作成し、進んでそろえられたら

スリッパを塗るといふ活動を全校で行いました。

その結果、それまでぐちゃぐちゃになりがちだったスリッパがきれいになり、予想以上の効果を出すことができました。「スリッパがいつもきれいで気持ちよかったです。」とか「後から使う人のことを思いやることができた。」という感想が多く出て、思いやりの心を持つ新屋つ子に向けて、一歩前進できたと思います。



写真上：ラインに合わせて並べられたスリッパ
写真中：きれいにそろえたよ！
写真下：自分が使ったあとにスリッパをそろえられたら「青」、ほかのスリッパもそろえられたら「赤」を塗るカード

提言

教育の必要性

甘楽町小中学校PTA連合会
会長 金井弘樹



三年ぶりにPTA本部として活動させていただいていますが改めて「教育」の必要性を自身身に問いかける機会が多くなりました。

そんな中、二〇一五年九月に国連サミットで全会一致で採択された「SDGs」のキーワードが頭をよぎりました。

SDGsには「誰一人取り残されない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するために二〇三〇年までを期間とする17の国際目標が設定されている。

その一つである「質の高い教育をみんなに」を取り上げてみたいと思います。

日本では、学校の敷地内をのぞけば、教職員の皆さんにより、楽しく学んでいる生徒をみるのは極々自然な風景に見えるのではないのでしょうか？

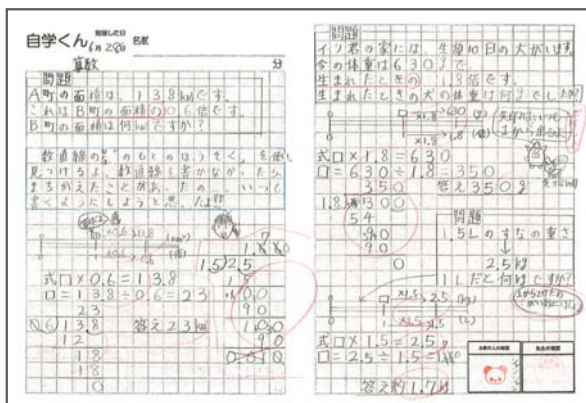
しかしマクロの視点で世界を見渡すと学校に通えない子は五八〇万人、基礎的な読み書きができない成人は七億八一〇〇万人存在するといわれています。

では、なぜ教育が必要か？
恥ずかしながら私には正解がわかりません。

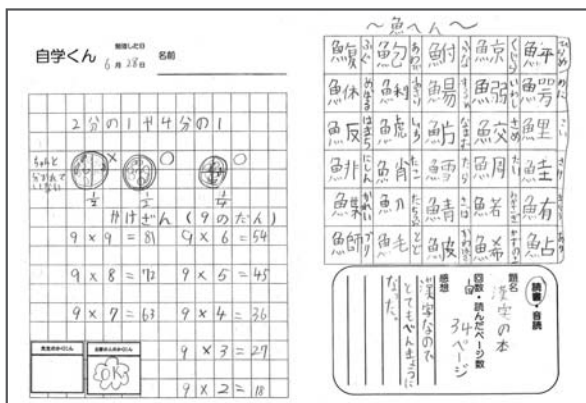
基本原則は「国際社会の成長、革新、さらには地域と国際社会の平和と安定に貢献する」と記されています。

完全に理解できたわけではありませんが、点が線になりつつあります。もう一度、基本原則をもとに教育の必要性を再考し親として、PTA本部の一員として、何より一人間として正しい考え方を見出せば本望です。

◆ 自学くん



高学年



低学年

「自学くん」がんばろう週間全校で取り組みました。これまで学校で作成してきた家庭学習の手引きに新たなメニューをプラスしたり、学年に応じて分量や形式を変えた「自学くん」プリントを準備したり、取り組み方のお手本を作ったり、家庭にも協力いただきながら行いました。

子どもたちからは、「普段の自主勉強より楽しくできた。」「自学くんはいろんな勉強ができておもしろかった。」などの感想が多く聞かれました。期間中、友だちとプリントを見合う時間を作ったり、

よい取り組みを紹介したりすることで、取り組み方も少しずつ向上しました。

〜児童の感想より〜

● 絵や読書があつて、わたしが好きなものができるからよかったです。

● ノートの自主勉強より楽しく取り組めてよかったです。みんなよりもっと良い自学くんをめざすためにがんばったら、おもしろくて、とてもきれいに書けた。

● いろいろな教科などができ、自分で何をするか決められてよかったです。